

体育・文化振興のため市内3校へ寄付

12月15日、小林市区長会が体育・文化振興のために市内3つの高校（小林高校、小林秀峰高校、小林西高校）へ寄付を行いました。橋ノ口孝一（はしのくちこういち）区長は「寄付は区・組加入世帯からのもの。子どもたちの育成のために活用してほしい」と話していました。



(株)マルミヤストアがレジ袋収益金を寄付

12月21日、食品スーパーを経営する株式会社マルミヤストアが市に10万円の寄付を行いました。寄付金は、小林店で得られたレジ袋の収益金をもとにしたもので、同社からの寄付は昨年引き続き2回目。寄付金は同社の意向で市の環境行政に活用されます。



市内小学生が街頭募金活動などを実施

12月26日、市内小学生14人と高校生ボランティア2人が市役所玄関前などで街頭募金活動を実施しました。これは小林市社会福祉協議会が主催したボランティア体験事業の中で行われたもので、児童らは活動終了後、高齢者へ宛てた年賀状の作成なども行いました。



交通事故のない安全なまちを願って

1月6日、紙屋地区石瀬戸の交通安全地藏前で、交通安全祈願祭が行われました。昨年は市内でも死亡事故が複数回発生しています。悲惨な交通事故が1件でもなくなるよう、交通ルールを守りゆとりと思いやりの心をもって安全運転を心がけましょう。



小林市からは21年ぶり 神之原さん夫妻新嘗祭に米・粟を献納

11月23日に皇居で営まれた新嘗祭に、宮崎県を代表して神之原幸作（かみのほろゆさく）さん・ミヨ子（みよこ）さん夫妻（南西方）が精米と精粟を献納しました。市内の農家が新嘗祭に献納するのは、平成13年以来21年ぶりのこと。12月21日には、小野正寛（おのまさひろ）宮崎県西諸県農林振興局長が神之原さんの自宅を訪れ、献納を証明する伝達書を手渡しました。



伝達書を受け取った神之原さんは「感無量。米作りは毎年が勉強なので、これを励みによりおいしい米をつくりたい」と喜びを話していました



クリアファイルを担当した河野さんは「デザインが難しかったが工夫するのが楽しかった。小林の魅力を変えて知ることができた」と話していました

細野中2年生が小林PRグッズ製作 修学旅行先でPR活動を実施

12月26日、細野中2年の上野海桜（うののみお）さん、河野みずき（かみのみずき）さん、小牧芹風（こまきせな）さん（写真④から順）が中屋敷教育長を訪問し、小林市をPRするパンフレットやクリアファイル、うちわなどを製作したことを報告しました。生徒は約2カ月かけてPRグッズを製作。12月5日には修学旅行で長崎駅を訪れ、駅利用者にグッズを手渡して小林をPRしました。



岡原さんは「訪問先では家族の話や日常の困りごとなど何気ない会話をする。とても喜ばれるので介護相談員にやりがいを感じています」と話しました

介護相談員の岡原リツ子（おかはらりつこ）さん 永年活動功労者表彰を受彰

介護相談員として10年目となる岡原リツ子さんが永年活動功労者表彰を受彰し、12月20日に伝達式が行われました。介護相談員は、介護サービスの質向上を目的に介護サービス提供事業所を訪問し、利用者や家族の相談に応じることで、利用者サービス提供事業者の橋渡し役を担うもので、市では現在6人の介護相談員を委嘱しています。

かねまついさお 金松勲（かねまついさお）さん地域への長年の貢献が 認められ総務大臣表彰を受賞

12月20日、「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞した金松勲さんへの表彰伝達式が市役所で行われました。金松さんは、須木地区の麓区長を16年務めたほか、地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持や形成に長年貢献し、その功績が顕著であったことが認められ、今回の受賞につながりました。



金松さんは区長を務めてきた16年を「まさか自分がこれほど長くするとは思わなかった」「様々な勉強をさせてもらった」と振り返りました

小林女子・三松男子ハンドスポ少 九州大会出場を市長に報告

12月19日、小林ハンドボールスポーツ少年団（女子）と三松ハンドボールスポーツ少年団（男子）が12月24日～25日に沖縄県で開催される第43回九州小学生親善ハンドボール大会に出場することを市長に報告しました。両チームは11月3日、23日に開催された県の予選会で九州大会への出場権を獲得。小林ハンドスポ少主将の鷗野由菜（おうのゆま）さん（小林小6年）は「県の代表として勝てるように頑張りたい」、三松ハンドスポ少主将的場圭吾（まるとばけいご）さん（三松小6年）は「チーム一丸となりまずは1勝できるように頑張りたい」とそれぞれ大会への意気込みを話しました。



市役所で行われた寄贈式に参加した入佐組合長は、「カーブミラーと横断旗を交通事故防止に役立ててほしい」と話していました

地域貢献活動の一環として JAこばやしカーブミラーなど寄贈

12月20日、こばやし農業協同組合（入佐美昭代表理事組合長）が市にカーブミラーと横断旗を寄贈しました。令和4年度の地域貢献活動の一環として、交通事故防止を目的に寄贈したもので、カーブミラーは要望のあった箇所に随時設置され、横断旗は市内小中学校や保育園・幼稚園などに配布されるなど、市民の安全確保に役立てられます。



講演会は小林高校、小林秀峰高校、小林西高校の高校生 17 人からなる実行委員会が企画・運営。当日の司会進行や受付、駐車場整理なども行いました

平昌五輪金メダリスト小平奈緒さん 「人とつながる」をテーマに講演

1月14日、元スピードスケート選手で、2018年の平昌五輪金メダリストの小平奈緒さんの講演会がありました。小平さんは競技生活を振り返りながら、オランダ留学や韓国の李相花選手とのエピソードなどを交えて「人とつながる」をテーマに講演。「小さなつながりが大きなつながりになり、人生を豊かにしてくれる」と話しました。

手先を動かし脳の運動！ アフリカの楽器カリンバを楽しむ

1月11日、須木総合ふるさとセンターの研修室で、須木生涯学習講座「脳活！カリンバ講座」が開催されました。参加者は、講師の泉山壽美さんにカリンバの基本的な弾き方の指導を受けたあと、「かえるの合唱」などの童謡を演奏しました。参加した伊藤ミツ子さんは「オルゴールのような優しい音色が癒やされる」と話していました。



カリンバは、木の箱や板に付いた金属棒を親指で弾いて演奏するアフリカの民族楽器。講師の指導を受け、参加者は各々柔らかな音色を奏でていました

郷土の誇りを胸に健脚を競う 第13回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

1月9日、第13回市町村対抗駅伝競走大会が宮崎市で開催されました。選手らは序盤からトップ争いを繰り広げ、12区間中4区間で区間賞を獲得。記録も2時間5分25秒と昨年から1分も短縮する素晴らしい走りを見せ3位と健闘しました。2区で区間賞を獲得した春田珠空さん（三松中3年）は「先頭で走る難しさもあったが、ペース配分に注意して走った。いつもより足が進み、昨年3秒差で逃した区間賞を区間新記録という形で獲得できてうれしい」と喜びを話しました。



◆出場選手（★＝区間賞）

- 1区 田中 優哉（★区間新）／2区 春田 珠空（★区間新）
 ／3区 福田 幸誠／4区 河島 椿／5区 堀之内 邦洋
 ／6区 鶴 優希（★）／7区 入来 稔彰／8区 池間 凜斗
 （★区間新）／9区 上甕 飛鳥／10区 園田 亮介
 ／11区 橋谷 咲斗／12区 陳内 紫音

Photo 1 1区の田中さん(左)と2区の春田さん(右)

2 6区の鶴さん(左)と7区の入来さん(右)

3 10区の園田さん(左) 4 12区の陳内さん

5 小林市選手団集合写真

